

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

「みやぎ版住宅」

グループの名称

「みやぎ版住宅」タウンプロジェクト

直近採択グループ番号

06-0644-0077

(グループ代表者)

代表者名

木村 良将

代表者印

代表者所属先

株式会社ホーム建材店

代表者所在地

宮城県仙台市宮城野区苦竹二丁目7-5

代表者電話番号

022-284-7867

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社ホーム建材店

事務局担当者名

宗田 雄二

印

事務局郵便番号

983-0036

事務局所在地

宮城県仙台市宮城野区苦竹二丁目7-5

事務局電話番号

022-284-7867

事務局FAX

022-236-7679

事務局担当者E-mail

muneta@kunenkansou.co.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		6	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		15	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	15	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	4	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		10	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		2	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		5	棟			
					1000	m ²			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	参加している工務店全社に最低1戸配分。 その上で、これまでに補助金を利用していない工務店や実績の少ない工務店を優先的に配分。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	13	戸	交付申請戸数	6	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	6	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 「みやぎ版住宅」	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 「みやぎ版住宅」タウンプロジェクト	(結成年) 2004 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0644-0077	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	夏は酷暑が少なく、冬の降雪量は東北の中では少ないので、比較的過ごしやすい気候であるが、地域によっては、内陸性気候と海洋性気候の違いや、豪雪地帯があるなど、特徴に違いが見られるため、断熱性能をH28年基準以上として対応する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	地震の多い地域で、東日本大震災や栗原地震、宮城県沖地震等大きな地震が発生する地域でもあるため、全棟地盤調査を行い、改良判定が出た場合、適切な改良工事を施工する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	県土面積の58%が森林であり、毎年120万㎡の成長を続けている地域のため、地域の木材を利用し、木の良さを活かした住宅とする。(非住宅は除く)	◎
④①～③の背景	当グループの地域は、比較的過ごしやすい地域ではあるが、寒暖差は大きく、今後の高齢化に伴い、ヒートショックも懸念される。東日本大震災後、地盤への安心感が重要となってきた。みやぎの木を使った「みやぎ版住宅」は、宮城県の推奨でもある。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	みやぎ版住宅特性(地域産材活用、県産建築資材活用、地元工務店活用、価格透明度、総合評価)を満たす家造り(非住宅は除く)	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-2 使用建材の統一	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
②-1 建材・資材調達共同化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: メーカーと協力して、展示会や勉強会を開催し、また、それらの案内を積極的に行っている	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: 建材メーカー、流通グループと連携して、使用する設備機器等の性能の向上に取り組む。また、展示会や勉強会等を通して、各設備への理解を深め、お客様に提案していく。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: 宮城県で定めている「みやぎ版住宅」の認定基準を満たす事を義務付けている	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: 行政における現場検査の他、グループ独自に検査基準を定め、定期的に現場検査を行う	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: 各工務店ごとに標準仕様書・見積書を作成し、施主へ提示する	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: 「みやぎ版住宅」を反映させたモデルハウスを建築し、未経験工務店へのサポートとグループの認知度、信頼向上に務める	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	□ ない ■ ある → 内容: 会議・勉強会等での意識付けを行う	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	■ ない □ ある → 内容:	
③ 社会保険への加入	□ ない ■ ある → 内容: 一人親方も含め大工の社会保険加入の声かけを行う	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない ■ ある → 内容: KY活動を各現場にて意識的に取り組む	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	初めて参加する工務店や、補助金利用の実績の無い工務店に対し、事務局を中心として、実績のある工務店を含めたサポート体制を構築する。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 「みやぎ版住宅」	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 「みやぎ版住宅」タウンプロジェクト	(結成年) 2004 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0644-0077	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: いえカルテ等住宅履歴情報サービスを活用する	○
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: いえカルテ等住宅履歴情報サービスを活用する	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: いえカルテ等住宅履歴情報サービスを活用し確認する	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各工務店ごとに引渡後30年後までの維持管理計画書の策定し、点検の実施を強化する また、地震・大雨等の災害があった際には、点検を実施する	○
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検時にて見つかった補修箇所や、お施主様の補修依頼には速やかに対処する	○
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: いえカルテ等住宅履歴情報サービスを活用することし、事務局も定期的にチェックする	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり、主に未経験工務店を対象に実施する	◎
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ参加工務店による展示場にて、年1回程度イベントを開催する(非住宅は除く)	○
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり、お施主様向けの建築相談会を開く	○
	④ 維持管理委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり、維持管理方法・技術の情報収集を行い、各工務店に周知する	◎	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員の倒産廃業時には、他の施工店により、維持管理において引き継げる様、事務局を含めたサポート体制を構築	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保険会社による勉強会を実施する	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	各工務店が責任をもって、お客様の住宅の維持管理と点検を徹底していくよう、事務局が指導していく。 また、各工務店同士の連系を深め、よりよい維持管理体制の向上に務める。		◎

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 29年度に引き続き、補助金利用の実績が無い工務店を中心に、事務局による申請サポートを行う	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各施工店が集まり、長寿命型、高度省エネ型等、地域の工務店が建てる住宅展示場を設け、お施主様へのPRの場を設ける	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工店同士の交流を目的とした勉強会を開催する	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域材の安定供給のため、プレカットと建材流通に係る事務局の強みを活かし、各工務店からの情報収集の場を設ける	○	
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 75 今年度の参加目標人数 20	○
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 2 今年度の参加目標人数 15		○	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で、開催情報を収集し、該当工務店に連絡、確認する		○	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: FSC認証制度の取得	○	
	② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	2020年には、各工務店が木の良さを活かしたZEHの施工ができるよう、検討委員会を設置し、勉強会等を開催する。		○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 「みやぎ版住宅」	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 「みやぎ版住宅」タウンプロジェクト	(結成年) 2004年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0644-0077	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	◎
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
<p style="text-align: center;">資材供給体制</p>		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	○
c	①-1 畳の活用	
	①-2 和瓦の活用	
	①-3 襖の活用	
	①-4 障子の活用	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	○
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 「みやぎ版住宅」	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 宮城県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 「みやぎ版住宅」タウンプロジェクト	<small>(結成年)</small> 2004 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0644-0077	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
※認定低炭素住宅 「みやぎ版住宅」認定を受けた上で、一次消費エネルギー削減率を20%を目標とする。 ※性能向上計画認定住宅 「みやぎ版住宅」認定を受けた上で、一次消費エネルギー削減率を20%を目標とする。 ※ゼロ・エネルギー住宅 BELSおよび「みやぎ版住宅」認定を受けた上で、太陽光発電を含まない、一次消費エネルギー削減率25%以上太陽光発電を含めた一次消費エネルギー削減率を100%とする。 ※優良建築物型 断熱性能を高め、一次消費エネルギー削減率20%を目標とする。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。